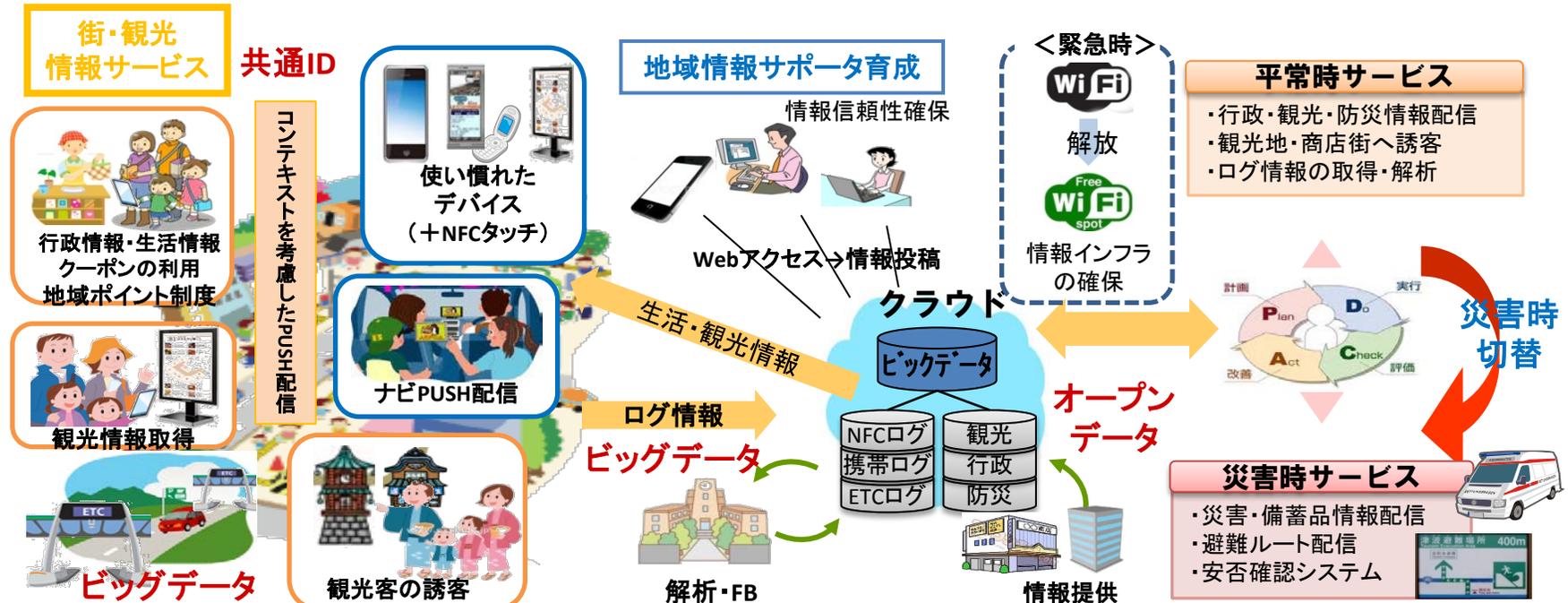


<b>提案者</b>	(株)エス・ピー・シー、国立情報学研究所、(株)博報堂(自動車旅行推進機構)、YRPユビキタスネットワークング研究所 協力:松山市、道後温泉旅館協同組合、道後商店街振興組合、西日本高速道路(株)
<b>実施地域</b>	愛媛県松山市
<b>事業概要</b>	「松山市の観光資源“道後温泉”を活かしつつICTスマートタウンの基本機能を実現することにより、自治体や企業が保有する様々な情報を最大限に活用し、地域住民が主体となって来訪者とともにICTを活用した魅力的な街をつくり上げる。 ・非常時にも、ライフラインとしての情報通信手段を確保しつつ、的確に避難情報・防災情報を提供する災害に強く安心・安全な街 ・住民等との協働によるコンテンツの整備、共通IDを活用した行政情報の各種情報が連携したサービスがある住みやすく魅力的な街 ・住民や来訪者等に対して利用者のニーズに応じた価値ある情報の配信を行い地域経済が活性化した来訪者が多く活気ある街 ・行政・民間のデータ連携を実現する共通ID等によるICT基盤に支えられ、広域的な事業展開を目指す発展性と将来性のある街



# ASEAN地域への沖縄型ICTスマートタウンモデルのグローバル展開を目指した課題解決に係る調査研究

提案者	(株)エヌ・ティ・ティ・データ、(株)カヌチャベイリゾート、(株)沖縄ソフトウェアセンター、(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)、沖縄県、名護市
実施地域	沖縄県名護市
事業概要	日本とアジアのITハブを目指す「津梁の地」沖縄において、グローバル展開に適合するICTスマートタウンモデルとして、沖縄における環境共生のためのエネルギー管理及び防災・減災街づくりを支えるクラウド基盤とデータ収集方式の確立検証を行うとともに、同基盤のASEAN地域への展開活用について検証する。

